

請 願 文 書 表

受 理 番 号	請 願 第 7 号
件 名	重度障がいのある人と家族が安心できる早急な入所施設の整備を求めることについて
紹 介 議 員	古泉幸一、渡辺有子、加藤大弥、小山 進、志田常佳、青木 学、中山 均
要 旨	<p>平成 28 年 4 月 1 日に、新潟市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例が施行され、以後、障がいがあっても安心して暮らせるまちづくりが進められていることは、私たち障がいのある家族を持つ者にとって、何より心強く感じています。</p> <p>一方で、私たちのような重度の障がいのある家族と自宅で暮らす家庭にとって、家族介助の負担は、介助する家族の高齢化などの時代の流れの中で日々増しているのが現状です。そして、誰よりも苦しんでいるのは障がいのある本人だと考えます。</p> <p>現在、新潟市には私たちのように、施設入所を希望しながらもかなわない障がい者が約 160 人います。また、やむなく市外の施設に入所している人を合わせると約 380 人に上ります。</p> <p>現在、国及び地方自治体では、地域と密接に関わり、支え合うことができるグループホームで重度の障がいのある人を受け入れ、サービスを提供する方針で施策を講じていますが、残念ながら、施設入所待機者の解消にはつながっていないのが現状です。</p> <p>つきましては、グループホームによる重度障がい者の受入れに加えて、施設入所待機者の解消につながる入所施設の整備を強く求めるものです。重度の障がいのある人とその家族が安心して暮らせるための入所施設を早急に整備することを求めお願いいたします。</p>
付 託 年月日 委員会	令和 2 年 12 月 2 日 市民厚生常任委員会
受 理	令和 2 年 11 月 27 日 第 401 号